

日之影の声を届けて幾数年!

No.62

2025.7.15

発行編集:日之影町議会報編集委員会

要望活動、意見交換・P2~P3

一般質問・P6~P7



ひかが
議会だより

議会傍聴者の声



今回は、各省庁から新人国家公務員研修の一環として、議会傍聴にご参加いただきました。省庁要望も行ったため、6月は国とのかかわりが深い月となりました。

【感想A】

日之影町議会の傍聴では、町長や教育長の率直な意見と熱意ある議論に感銘を受けました。幅広い世代が傍聴する中、住民と行政をつなぐ議会の重要な役割を実感した貴重な機会です。

【感想B】

日之影町への発言者の熱意が伝わる議会でした。「企業版ふるさと納税」の仕組みや可能性を学び、貴重な経験に。教育に関する「一人でも多くの方が日之影に関わりたい、と思うような教育を」との発言が印象的で、町の現状に真摯に向き合う姿勢を強く感じました。

【感想C】

貴重な傍聴体験ありがとうございました。台本がない中、それぞれの議員が自身の言葉で質問・応答する姿に強く惹かれました。そこから日之影町を良くしたいという熱い思いが伝わりました。防犯カメラ設置の議論では、隣人関係が密な地域ならではの課題も学び、興味深かったです。

【感想D】

日之影町の将来を見据え、真剣に議論される方々の活発な質疑応答に感銘を受けました。自分の言葉で議論する姿は、まさに議会のあるべき姿だと感じ、印象深いです。それぞれの議員が国の政策を深く調べ、町政に落とし込んで質問している点も大変勉強になりました。

日之影町の未来を拓く！東京での要望活動を実施

日之影町議会は、町民の皆さんの暮らしを豊かにするため、令和7年6月24日(火)から26日(木)の3日間、東京で関係省庁や国会議員への要望活動を行いました。

この活動は、日之影町の喫緊の課題解決と持続可能な地域づくりを目指し、国からの支援を引き出すための重要な取り組みです。国土交通省や財務省への表敬訪問、衆議院第二議員会館での要望活動を通して、町の未来について訴え、議論しました。

今回の要望活動に係る予算総額(旅費や宿泊費など)は約75万円です。



関係省庁・国会議員への 要望活動

活発な意見交換が行われました



地方創生の推進

移住者の定着について



過疎地域支援

不感地帯解消について



中山間地域における 農業振興対策



これからの中山間農業について



林業振興対策

再造林について



九州中央自動車道の早期整備について

一刻も早い全線開通を



中山間地域の持続的な 水資源供給支援について



全ての水道にきれいな水を



「町民のためのより良い選択」

…… 議案撤回で再度検討 ……



中央地区活性化特別委員会 委員長報告

…… 旧庁舎跡地整備事業の検証と今後 ……

【町長】

コミュニティセンターのバリアフリー化について、他の提案も受けており精査が必要のため、議案第22号（一般会計補正予算）を撤回させていただきます。

【議員】

バリアフリー化のスロープ予算計上時、中央地区活性化協議会との情報共有は充分でしたか？

【地域振興課長】

協議会とは随時バリアフリー化について話し合い、必須との意見も受けており、スロープも含め検討していました。

【議員】

「他方法の提案」はどこから、どのような内容でしたか？

【地域振興課長】

議会から提案があり、執行部も現地で説明を受けました。

【議員】

今回の撤回を前向きに捉えています。町長の所見をお願いします。

【町長】

バリアフリー化は重要ですが、利用者の安全・安心を最優先に、エレベーター方式など他の方法も検討すべきと判断しました。皆が納得するより良いものを作るため、一度撤回し、時間をかけて検討します。



▶ 現地視察の様子

令和5年3月17日に設置された中央地区活性化特別委員会は、旧庁舎跡地開発予算を巡る議論を受け、跡地活用を検証してきました。見直しも検討しましたが、予算減額には至りませんでした。

5回の特別委員会を開催し、現地調査や意見交換を行いました。また、中央地区活性化協議会にもオブザーバー参加し、提言を行っています。

旧庁舎跡地整備事業の総事業費は約3億7900万円です。旧庁舎及び独身寮の解体費約8200万円、中央研修館関連が2億9700万円。当初一般財源予定だった解体費は、研修館改修により過疎対策事業債（約2億2500万円）や企業版ふるさと納税（910万円）など、有利な特定財源活用が可能となりました。中央体育館の改修は耐震性の懸念から見送られています。

有利な起債活用を急ぐあまり計画に変更が生まれました。提案時の

精査不足など、議会にも改善点があったと考えます。

改修後の研修館は美しい建物となり、駐車場の一部は芝生公園へ生まれ変わりました。この施設は、多くの方々が集い楽しめる場所となることが期待されます。多額の費用をかけた以上、今後の活用が極めて重要です。中央地区活性化協議会が主体となり、具体的な集客事業を企画し、活性化を進める必要があります。本町職員イベント運営負担軽減も今後の課題です。

本体工事の完了をもって、中央地区活性化特別委員会は解散いたします。

なお、6月定例会のバリアフリー化予算については、議会基本条例に基づき、十分な討議を通じて開かれた議会構築に努めるべきであると意見に付し、最終報告といたします。

第1回定例会 注目議案

全て原案可決

議案番号	件名	概要
報告 第3号	専決処分事項の報告について (専決第9号) (工事請負変更契約の締結について)	護岸工である大型ブロック積み面積の増、及び、工事用道路の大型土のうを河川の転石で代用したことによる減(約524万円の減)
議案 第21号	日之影町移住定住促進住宅使用 条例の制定	町が所有者から空き家を借り上げ、整備した住宅の使用に関する条例を制定するもの。趣旨、使用の手続き、使用料の徴収、費用の負担義務等について規定する
議案 第23号	令和7年度日之影町国民健康保 険事業特別会計補正予算(第1号)	会計年度任用職員の雇用に伴う人件費等の補正が主なもので、歳入歳出それぞれ309万円を追加し、予算の総額を6億7,325万円とする
議案 第24号	令和7年度日之影町介護保険特 別会計補正予算(第1号)	職員の人事異動に伴う人件費の補正によるもので歳入歳出それぞれ49万円を減額し、予算の総額を6億3,955万円とする
議案 第25号	令和7年度日之影町簡易水道事 業会計補正予算(第1号)	制度改正に伴う人件費の補正によるもの 収入については営業外収益で他会計補助金を24万円追加、支出については営業費用の総係費を24万円追加。予算総額を1億870万円とする
議案 第26号	令和7年度日之影町農業集落排 水事業会計補正予算(第1号)	制度改正に伴う人件費の補正によるもの 収入については営業外収益で他会計補助金を10万円追加、支出については営業費用の総係費を10万円追加。予算総額を2,511万円とする
議案 第30号	令和7年度日之影町一般会計補 正予算(第1号)	今回の補正は、職員の人事異動に伴う人件費のほか、国の物価高騰対策による定額減税補足給付金の不足額給付等が主なもの 歳入歳出をそれぞれ2,479万円追加し、予算の総額を61億9479万円とする

「移住定住促進で町の活性化へ」条例案を多角的に審査

経済建設常任委員会・総務文教常任委員会連合審査会報告書 委員長 甲斐 徳仁

経済建設・総務文教常任委員会連合審査会は、令和7年6月13日、日之影町議会に報告書を提出した。令和7年6月6日第2回定例会本会議で両委員会に付託された議案第21号「日之影町移住定住促進住宅使用条例の制定」について、令和7年6月10日に委員会室で実施した審査結果を報告した。

条例は、町の人口減少課題に対し、移住・定住促進で活性化を図り、持続可能な発展を目指す最重要施策である。

審査では、条例案の妥当性、公平性、運用課題

などが多角的に議論された。特に重視されたのは、新たな移住者の負担軽減策(住居所有者との協議、保証人確保など)を町が積極的に検討すべきこと、また、既存住民との合意形成が必要不可欠であり、トラブル防止のため日頃からの意思疎通が求められる。

審査の結果、連合審査会は、議案第21号を本会議で原案通り可決することに決定した。

本条例制定が、日之影町の人口減少対策と地域活性化に大きく貢献することを期待し、ここに審査結果を報告いたします。

犯罪の抑止効果に防犯カメラの設置は

町長 安全な地域社会実現に向けて取り組みを強化していく



水 輝 明
議 員

問 近年、地方においても盗難被害等の犯罪が多発している。各集落・営農団施設・公営住宅へ防犯カメラの整備が必要と思うが町長の見解を伺う

町長 宮崎県では、犯罪のない安全で安心なまちづくり条例に基づいて、防犯カメラを防犯上有効な施設として位置付けており、本町としてもその有効性は十分認識しているが、「各集落・営農団施設」への設置については、それぞれの管理者に委ねることとなる。「公営住宅」をはじめとした公共施設については、プライバシーの侵害などの問題を整理する必要があり、今後の検討課題である。

問 防犯カメラの設置に対し一部補助の考えはないか伺う

町長 現在、椎葉村が実施をしている。また、設置運用要領を整備しているのが7自治体ある。町としてもできないことはないが、個人のプライバシーというの尊重していかねばならないので、いろんな要件を慎重にクリアしながら検討していく。

町長 基本は、町民の防犯意識の向上が大事だと思っ

問 安全・安心なまちづくりは、町政の大きな柱である。防災無線や広報誌等を通じて発信すると共に、町民や警察などの関係機関と連携し、防犯パトロール・防犯教室を実施するなど、防犯状況の提供や注意喚起をおこない、町民一人ひとりの防犯意識を高められるよう、安全な地域社会の実現に向けて取り組みを強化していく。

町長 安全・安心なまちづくりは、町政の大きな柱である。防災無線や広報誌等を通じて発信すると共に、町民や警察などの関係機関と連携し、防犯パトロール・防犯教室を実施するなど、防犯状況の提供や注意喚起をおこない、町民一人ひとりの防犯意識を高められるよう、安全な地域社会の実現に向けて取り組みを強化していく。



企業版ふるさと納税のさらなる活用は

町長 日之影町の貴重な財源確保に繋がるため、積極的に推進していく



久 保 優 一
議 員

問 本町に企業版ふるさと納税を行うメリットは

町長 企業は寄付額の最大約9割の税軽減を受けられる。また、脱炭素など社会貢献につながる活動への寄付は、企業の好印象やイメージアップになり、希望に応じて町のホームページや広報紙で企業名・金額を公表する。日之影町の貴重な財源確保に繋がるため、積極的に推進していく。

問 他の自治体との差別化について

町長 日之影町は、「子どもの育ちを応援するまち事業」や「地域資源を活かし豊かなまち事業」など、国の認定を受けた1つの地方創生プロジェクトを掲げている。

子育て支援の充実やゼロカーボンシティ宣言など、日之影町固有の地域資源と合わせた取り組みを町外へ発信し、差別化を図っている。



子育て支援

問 トップセールスは行っているか

町長 出張先で企業に制度説明や寄付のお願いをしている。また、寄付してくれた企業へはお礼状を送付し、県内外の一部企業へは直接訪問してお礼を伝えている。顔を合わせることで信頼関係が築かれ、継続的な寄付につながっていると実感している。

一般質問

長期総合計画が日之影に与える影響は

町長 実現に近づけるよう努力する



高館 英嗣
議員

問 産業別の所得目標を掲げる考えはないか

町長 所得に関する目標値は設定されておらず、特に農林業の所得は重要であり、新たな項目を加えるためにも担当課と共に目標値を出す方法を研究していく。

問 若手の育成とあるがどのような人物に地域のリーダーになってほしいのか、またその後地域をどう導いてほしいのか

町長 これまでは各種活動を通じて中から自然と地域のリーダーが育ち、地域全体を牽引していた。結果として、地域のリーダーから議員へとなることも考えられる。

問 地域のリーダーとして議会を目指す方々が増えるのであれば、総合計画に議会の役割を明記することで成り手不足解消、女性議員の獲得につながるかと考えられるが中期計画もしくは次の計画で明記する考えは

町長 提案に対して否定する理由もなく、その中に議会を組み込むことも有意義だと考えられる。

問 本町に住みつつつけたい子どもたちを増やすためにもキャリア教育を一工夫する必要があるのではないか

教育長 義務教育9年間を通じたキャリア教育により子どもたちは日之影に対して深い愛着を持つようになっていく。夢に向かって努力する若者を支援することも重要であり、全員が地域に留まる事は考えづらいが、日之影に住みたい、戻ってきたい、離れていても応援したいと思う若者が増えるような教育施策を推進したいと考えている

問 本計画は10年後の町の将来像を示しており、議員や首長が変わっても変わらない目標であり住民に理解してもらう必要があるが見解は

町長 全世帯に概要版、小中学校に子ども版を配布しており、多くの方に目を通していただき活用していただきたい。

町長 全世帯に概要版、小中学校に子ども版を配布しており、多くの方に目を通していただき活用していただきたい。

郵便はがき

8 8 2 0 4 0 1

恐れ入りますが、85円分の切手をお貼りいただくか議会事務局までご提出ください。

日之影町大字七折9079

日之影町議会事務局 行

氏名（掲載しません）

ペンネームなど



ご意見箱設置場所

- ・役場玄関
- ・道の駅レストラン前

更により良い議会だより
町づくりのため
皆様の声をお聞かせください!

例えば…

- 「こんな企画、特集があったらいいな」
 - 「ここを変えたらもっと読みやすくなる」
 - 「議会のここが分からない」
 - 「そもそも議員の仕事が分からない」
- 等とにかくテーマは何でも構いません。
匿名でも実名でもペンネームでもOKです。

提出はハガキ、ご意見箱、メール (gikai@town.hinokage.lg.jp) でお受けいたします。
なお、いただいたご意見は、個人情報保護の上議会でのみ使用します。

所管事務調査 総務文教常任委員会

西白杵広域行政事務組合ゴミ処理施設の現状と課題

総務文教常任委員会は、令和7年5月19日、広域行政事務組合ゴミ処理施設の現状と課題を調査した。当委員会は、ゴミ処理問題調査を年間計画としており、西白杵衛生センターを視察した。

■調査概要と視察結果

センター長から各施設の概要（し尿処理は28年、ゴミ処理は23年経過）の説明を受け、その見学と質疑を通して、様々なゴミの集積状況を確認した。

主な視察結果は次の通りだ。し尿処理設備は効率的で清潔、臭いも少なく、放流水も良好だった。燃えるゴミは10トン車2台で延岡センターへ搬送されているが、道路アクセスの改善による輸送コスト削減が課題である。燃えないゴミは手作業で分別されているものの、作業員の安全確保のため、時折混入する鋭利な陶器やガラス片などの適切な分別に、引き続き町民の協力をお願いする。また、重要な課題の一つとして、高

齢者世帯の粗大ゴミ持ち込み困難への対応を、今後も追求する。

■今後の取り組みについて

ゴミ問題は住民生活に不可欠なため、今後も定期的な視察と意見交換を通じて、効率的で持続可能な廃棄物処理システムの構築を目指す。視察冒頭に3町の議会へ現場視察要請があり、この問題解決には議会全体の理解と協力が不可欠であることが示された。今後も各議会と連携し、地域一体で取り組みを進めてまいります。



おたよりコーナー

いつもたくさんのご意見ありがとうございます。今回は寄せられたお便りの中から取り上げてみました。



Q 問いに対し町長の回答まではわかります。結果はどうなった・その後の結果がいつも載っていない。どう実行したか？

A 限られた紙面ですが、今後は質疑の背景にある町の動きや、その後の方向性をより丁寧に、分かりやすくお伝えできるよう工夫を重ねてまいります。皆様に町政の透明性を感じていただけるよう、引き続き紙面作りに努めてまいります。貴重なご意見は、今後の編集に活かしてまいります。

◇あなたの年齢は？（○をつけてください）

10代・20代～30代・40代～50代・60代以上

◇「議会だより」に対するご意見ご感想

◇町や議会に対するご意見

ありがとうございました



調査報告

公立病院の広域医療等に 関する特別委員会

令和元年12月に設置された本委員会は、令和6年3月までに13回の委員会を開催した。

委員会では、西臼杵地域公立病院統合再編準備室から3町公立病院の現状分析や将来予測の報告を受け、また監査法人との意見交換も行った。これらの活動を通じ、町の医療形態の課題、町民の統合再編に関する意見集約、統合に伴う財政負担などを繰り返し協議した。

令和6年3月には令和9年度までの中期経営計画と3町公立病院の経営強化プランが示され、両計画に基づき運営が行われている。本町病院では、全体病床数50床について、今後の医療需要をみながらその適正化を検討し、へき地医療や在宅医療の充実を図り、地域住民の「医療・福祉・介護」の確保に努めるとしている。医療実績は、各病院の地域連携室による転院調整により入院収益の改善が見

られている状況である。

西臼杵医療センターの取り組みは、今年度「連携」と「人材確保・育成」を2本柱として進める。連携の基本は、3町連携、各医療機関との連携、オンライン診療、制服統一、救急医療体制の強化が挙げられる。特に救急医療については、3町病院間の連携、病院と消防の連携、災害時の同センターの役割など、機能強化の検討を進める方針だ。また、喫緊の課題である人材確保では、医師や看護師確保に向け、大学病院訪問、看護大学への説明会、修学資金貸与など積極的に事業を展開することである。

同センターは令和6年4月1日に経営統合が実現し、本委員会を設置目的は概ね果たされた。今後は、議会への報告もなされることになり、本特別委員会は本日をもって最終報告といたします。



調査報告

新型コロナウイルス等 感染症対策特別委員会

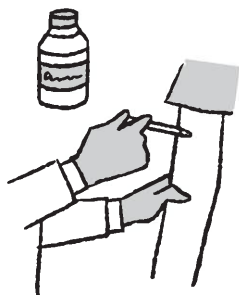
日之影町議会は、令和4年1月20日、町民生活への甚大な影響を踏まえ、新型コロナウイルス等感染症対策特別委員会を設置し、感染拡大防止と町民の安心・安全確保に向けた町の取り組みについて調査を進めてきた。

委員会は3回にわたり開催され、第1回（令和4年1月20日）では感染症対策と議会の対応、第2回（令和5年4月20日）ではワクチン接種状況と5類移行への対応、そして最終となる第3回（令和7年5月16日）ではこれまでの対策経過と現状、今後の対応について報告を受け、審議を行った。

国内でコロナウイルス感染者が確認されてから6年が経過し、その間、国・県・町は感染症警戒本部を設置し、全国的なイベント自粛や小中学校の臨時休校などの対策を実施。令和3年5月からは無償ワクチン接種が7回にわたり行われた。

令和5年5月8日には新型コロナウイルスの位置づけが2類相当から5類感染症へ移行。基本的対処方針も廃止され、医療体制の通常対応化、外出自粛の個人判断への委ね、感染防止対策の個人・事業者判断への移行など、一般的な感染症としての扱いへと国の方向性が示された。

これらの状況を踏まえ、本委員会は、特別委員会の設置目的を達成したと判断した。今後は、地域の実情に応じた対策を迅速かつ効率的に実施できるよう、柔軟な交付金のあり方などを要望し、令和7年5月16日をもって本委員会の調査を終了し、最終報告といたします。





僕たち、私たちの議会体験

第2回定例会一般質問

6月11日、町内の小学6年生20名(宮水小9名、高巣野小8名、日之影小3名)が議会の傍聴に訪れ、児童から感想文をいただきました。*掲載内容は一部抜粋しております。



高巣野小学校

- 私は、日之影町議会の傍聴を終えて、1回、1回が大事な議会なんだなと思いました。そのおかげで、今の安心・安全な日之影町があるんだなと思いました。私も、日之影町を支える事ができるように頑張りたいです。
- 僕は、初めて日之影町議会に参加しました。日之影町議会に参加するまで、あまり興味がありませんでした。しかし、議会の「安全・安心なまちづくり」についてや、「産学官連携について」などの話を聞いていると、議会はこうやって話しあっているんだなあと思いました。

日之影小学校

- 僕は、初めて議会に参加しました。防犯カメラの事やふるさと納税の事を話していたけど、その内容は難しい事でいっぱいでした。だけど、この全ては町民のために必死に行ってくれていると思いました。だから、自分でも日之影町をもっと良い町にするためにできることを探したいです。
- 日之影町の今と未来を真剣に考えてくださっているのがよく分かりました。議員さん達の意見にも納得しましたが、町長の意見に対する答弁もとても納得しました。日之影町の重要な未来を決める責任があるなか意見を言う議員さんはすごいと思いました。

宮水小学校

- 今日の議会では、色々な質問を聞きました。特に、日之影町の事を主に話していました。大人の話し合いだったので難しかったです。だけど、頑張って聞いていたので分かるところがありました。3つ目の質問は聞けませんでした。でも、2つの話し合いでは、最近の事や前の事を聞きました。CMの番組や町内放送で聞いた事だったので、心のなかで「最近あった事件だ」と感じました。今日の話し合いでもしかなると実行するものを早く行って欲しいです。
- 今日、初めて町議会を見ました。議員の方や町長さん達は、みんな私たちの事を考えて話し合っていて、この話し合いのおかげで、私たちが安心して暮らせるんだなと思いました。議会ではたくさん質問をして、それに答えて、いろんな事が決まってくんだなと思いました。話し合いの内容は難しかったです。今日の議会は、議員の方が町長さんに質問して町長さんが答えていたけど、他の人が答える時もあるのかなと思いました。初めて議会をみて、いろいろなことを知ることができました。とても、貴重な体験ができて良かったです。

編集後記

農家の皆さんは、田植えが終わって一段落された事でしょう。お疲れ様でした。これからは有害鳥獣対策に大変だろうと思います。これからやって来る猛暑日との戦いも大変だと思います。どうか皆さん、熱中症対策も十二分にとっていただき、お仕事頑張ってください。また、異常気象により、大型台風等の襲来が予想されます。そういった対策もしっかりとっていただき、秋の稔りを待ちましよう。

河野 學

発行責任者

議長 甲斐 陸彦

議会報編集委員

委員長 久保 優一

副委員長 一水 輝明

委員 河野 學

委員 高館 英嗣

委員 小谷 幸治